

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1071
2026.8.30

日本共産党さいたま市議会議員団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ご意見・ご要望はこちらにお寄せください



発行

松村 としお
久保 みき
金子 あきよとば めぐみ
たけこし 連
池田 めぐみ

公設放課後児童クラブを 9月議会議案 7つ廃止

9月議会は各種条例や補正予算とともに、2025年度決算の審査がおこなわれます。9月議会で提出される議案の一部を紹介します。

さいたま市は放課後子ども居場所事業を2024年度から開始し、開設した学校に公設放課後児童クラブがあれば廃止してきました。2027年度は居場所事業が新たに10校増えます。それにともない廃止される公設クラブは次の7校です。

西区＝馬宮東小、見沼区＝春野小、中央区＝大戸小、桜区＝中島小、南区＝辻小、岩槻区＝東岩槻小・城北小

党市議団は公設も含む学童クラブを増やすことで待機児童解消を主張してきました。居場所事業はすべての子どもが入室できる一方で福祉の視点が失われているなど課題があります。また公設クラブは隣接する学校の児童も入室できましたが、居場所事業に移行すると入室できなくなる問題もあります。

昨年度決算は68.8億円の黒字

さいたま市の2025年度一般会計決算は過去2番目の規模で約7477億円、黒字額は68.8



公設放課後児童クラブを視察(2025年5月)

億円でした。水道事業会計は35.7億円、下水道事業会計は7.2億円の黒字でした。また市立病院は19.4億円の赤字でしたが、2024年度に比べ赤字額を21.7億円減らしました。物価高騰のなか、みなさんが納めた税金が暮らしを支えるために使われたのか、決算特別委員会で審査していきます。

補正予算に物価高騰対策は…

補正予算は全体で約94億円規模です。主なものは以下の通りです。

- ・リチウム蓄電池の収集を区役所などの改修ボックスでおこなっていましたが、2027年4月から地域の収集所に移行するための費用
- ・介護予防総合センターを2027年4月から開設するための費用
- ・放課後児童クラブ支援員の処遇改善として新たな経験加算をするための費用

9月議会

2件の意見書(案)を提案しました

党市議団として2件の意見書(案)を提案しました。議会運営委員会に諮られ、すべての会派が一致すれば国に送致されます。

- ・災害対策に係る諸施策の強化を求める意見書(案)
- ・米の価格価格適正化と安定供給のための対策を求める意見書(案)

4件の請願の紹介議員になりました

党市議団として4件の請願の紹介議員にな

りました。採択のために全力をあげます。

- ・非核三原則を国是として閣議、国会で確認することを求める請願(さいたま市原水協)
- ・核兵器禁止条約再検討会議にオブザーバー参加することを求める意見書請願(さいたま市原水協)
- ・中学校給食の無償化を求める請願(新日本婦人の会)
- ・18歳未満(高校生年代)までの国保税・均等割を国が実施した半減制度に連動させ、市独自の全額減免措置を求める請願書(さいたま市社保協)

公共施設建築の実態を 現場調査 原山小建て替え

埼玉土建労働組合が例年おこなっている、市内公共施設の現場調査が8月6日におこなわれました。今年は原山小学校(緑区)建て替え工事現場で、松村としお市議が同席しました。

夏の暑い最中の工事ということもあり、建設会社としても労働者の熱中症対策に注力していることが語られました。同時に、暑さで作業時間に制限が生じるため、工期の管理に



苦労していることや、労働者の確保に苦労している実態についても話されました。埼玉土建の方からは建設業退職金共済(建退共)制度の利用状況や熱中症対策の具体的な内容など建設労働者の権利が守られているか聞き取りがされました。松村市議は「真夏の過酷な現場で働く方の命と健康が守られるよう今後に生かしたい」と話しました。

また2025年度決算で出た黒字は「剰余金」として扱われ、各種基金に積み立てられます。2025年度一般会計の黒字額68.8億円のうち19.8億円を財政調整基金に、49億円を減債基金に積み立てることも補正予算に含まれています。

年度初めの予算に含まれていなかった「剰余金」は使い道を新たに決めることができますが、基金に全額積み立てられました。補正予算に物価高騰対策は含まれていません。多額の「剰余金」は暮らし応援に活用すべきです。

8月の広島で平和を想う

原水爆禁止世界大会に参加

戦後 81 年目の 8 月、とばめぐみ市議と池田めぐみ市議が、広島で開催された原水爆禁止世界大会（以下、原水禁大会）と平和祈念式典に参加しました。原水禁大会では、核兵器廃絶と平和のための国際的な連帯の場として、世界各国の代表が参加し、核廃絶のためのとりくみなどを共有しました。

開会日の特別企画「市民と議員の対話」には、日本共産党の田村智子委員長が登壇し、「核抑止」に依存する考え方ではなく、核兵器そのものをなくす方向へ国際社会が進むべきだ、唯一の戦争被爆国である日本こそ核兵器禁止条約に



参加し、核廃絶の先頭に立つべきだと話し、大きな共感を呼びました。

平和祈念式典 さいたま市の中学生も参加

8 月 6 日、平和記念公園でおこなわれた「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」では、「私たちには被爆体験を直接聴くことができる最後の世代として、当時の記憶を事実として受け止める使命があります。目をそらさず、知ろうとすること。悲しい現実でも向き合うこと。1 人ひとりの小さな行動が平和への後押しとなる」との小学 6 年生 2 人の平和への誓いにひととき大きな拍手が送られました。

この式典には、さいたま市から今年も 10 名の中学生が参加しました。池田市議が 2024 年の文教委員会で提案し、戦後 80 年の昨年、はじめて実施された事業であり、昨年参加した生徒の報告会では「平和を願うだけでなく行動したい」「平和をあきらめない」といった発表がありました。今年は昨年より 21 名多い 88 名の応募でした。11 月 14 日の平和展で参加した生徒の報告があります。被爆者の証言や、全国こどもサミットに参加した感想など、多く

の方に伝わることを願います。

また、大会の中ではヒロシマデー集会も開かれ、3400 人が参加しました。「『核兵器のない平和で公正な世界』への希望をきりひらくため、新たな決意で行動に立ち上がろう」と訴える決議「広島からのよびかけ」が採択されました。国連の中満泉さんとメキシコ政府代表のスピーチ、玉城デニー沖縄県知事がメッセージを寄せました。広島市の被爆者、伊藤正雄さんの証言には会場からすすり泣きがもれ、広島県原爆被害者団体協議会（広島県被団協）の佐久間邦彦理

事長が「日本政府は禁止条約の批准を」と心からの訴えがありました。各国代表が登壇したほか、高校生が「私たちの未来に、核兵器も戦争もいらない」とスピーチし、会場は拍手で包まれました。

大会に参加した池田市議は「憎しみや敵打ちからは平和は生まれない、愛と赦しあいの思いで多くの友だちをつくることこそが平和の原点、と話された伊藤正雄さんのお話には心を打たれた。さいたま市でも引き続き、平和推進事業をすすめていきたい」と語りました。

8・15 終戦記念日 平和への決意あらたに

8 月 15 日は 81 回目となる終戦の日。日本の侵略戦争によってアジア・太平洋地域では 2000 万人以上の命が奪われ、広島・長崎への原爆投下、各地での空襲などで、日本国内でも 310 万人以上が亡くなりました。

この日、日本共産党は全国各地で、二度と戦争を起こさない、平和を実現するための決意を訴える街頭演説にとりくみました。さいたま市でも、浦和駅東口で金子あきよ、池田めぐみ両市議、大宮駅東口でとばめぐみ市議と林秀洋（はやし・ひでひろ）中央区くらし相談室長が参加して、塩川鉄也衆議院議員と梅村さえ子元衆議院議員とともに街頭にたちました。

塩川衆議院議員は高市政権の進める「戦争する国づくり」、大軍拡政治を厳しく批判し、平和と暮らし

大宮駅▶



◀浦和駅



を守り、非核三原則の堅持、核兵器禁止条約への参加、ASEAN 諸国をお手本に憲法 9 条をもとにした平和の外交の実現を、と呼びかけました。平和を願うすべての人と力をあわせ、日本共産党は国政でも市政でも全力を尽くしていきます。

平和行進



緑区



桜区



南区



あなたの身近な市議会議員です



緑区
松村としお



桜区
久保 みき



南区
金子あきよ



見沼区
とばめぐみ



中央区
たけこし連



浦和区
池田めぐみ